

# 希望を

NPO 法人  
女性の安全と健康のための  
支援教育センター

2016年5月公開講座

# 捨てないために

# —語り継ぐ戦争

**講演 澤地 久枝さん**

**ゲスト 安保関連法に反対するママの会メンバー  
SEALDs\* メンバー**

\* シールズ：自由で民主的な日本を守るための、学生による緊急アクション

**2016年5月29日 (日)**

**13:30 - 16:30 (13:10 開場)**

**東京ウィメンズプラザ ホール**

参加費 会員： 1,000 円  
(資料代) 会員外： 1,500 円  
学生： 500 円

憲法九条のおかげで、日本はこの 71 年間、戦争によって人を殺すことも殺されることもありませんでした。それが変わろうとしています。「戦争はしない」があたり前ではなくなった今、戦争について深く考える必要があります。

日本が起こした先の戦争で女たちは一体どんな役割を果たしたのでしょうか。女たちは男たちとは違う戦争体験をしてきたはずで、性暴力を含めた女性特有の被害がすぐに思い浮かびます。でも同時に、女たちが担った加害の歴史も忘れてはならないでしょう。

自らの引き揚げ体験を原点に、日本の戦争を鋭く問い、語り続けてきた澤地久枝さん。その思いのたけに、今を生きる若い人とともに耳を傾ける集いに、ぜひご参加ください。希望を捨てないために!





### 澤地 久枝さん

ノンフィクション作家。1930年東京生まれ。4歳で中国北東部の満州に家族と渡り、敗戦の翌年引揚げる。その過酷な体験は『14歳（フォーティーン）満州開拓村からの帰還』（集英社、2015）に詳しく語られている。1949年中央公論社入社。後に五味川純平氏『戦争と人間』の資料助手をつとめる。著書・共著は『妻たちの二・二六事件』（中央公論社、1972）を始めに『密約—外務省機密漏洩事件』（岩波書店、1974）、『完本 昭和史のおんな』（文藝春秋、2003）など多数に及ぶ。最新刊は落合恵子さんとの対談を収めた『われらが胸の底』（かもがわ出版、2016）。「九条の会」呼びかけ人の一人。



### 角田 由紀子

弁護士。NPO 法人 女性の安全と健康のための支援教育センター代表理事。著書に『性と法律』（岩波新書、2013）など

特定非営利活動法人 女性の安全と健康のための支援教育センターは、女性・子どもへの暴力と取り組む支援者のための団体です。1999年に設立し参加会員の会費で運営されています。研修や公開講座によりさまざまな専門分野で活動する人を養成し、ネットワークづくりをめざしています。

#### 会費（年間）

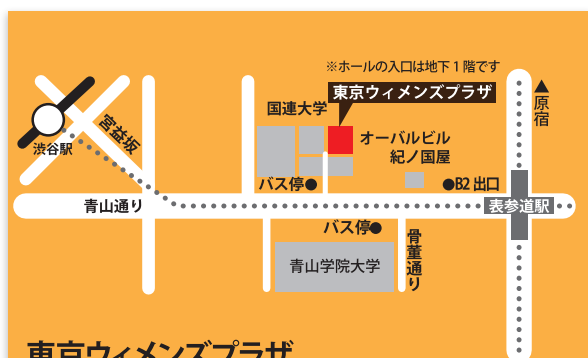
A（正会員）6,000円

B（学生会員）3,000円

C（賛助会員・団体/個人）10,000円

★皆さまの会費は、センターの活動を支える貴重な財源です。年4回「センター通信」をお送りしています。

資料請求は、下記女性の安全と健康のための支援教育センター事務局までお願いします。



### 東京ウィメンズプラザ

東京都渋谷区神宮前 5-53-67

#### 交通機関

■東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線

「表参道駅」B2出口 徒歩 7分

■JR山手線・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線

「渋谷駅」徒歩 12分

★資料準備などのため、以下の内容を記して、**5月26日午後3時まで**に、EメールまたはFAXでお申し込みください。ホームページからも申し込みいただけます。

ふりがな	TEL
お名前	FAX
ご住所 〒	email
	職業・所属など
	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外 <input type="checkbox"/> 今回入会希望（入会申込書一式をお送りします）

送信先 FAX 03-5684-1412 email : shienkyo@vega.ocn.ne.jp

お問合せ NPO 法人 女性の安全と健康のための支援教育センター http://shienkyo.com